



エイサーフェスティバル開催



5月19、20日の2日間 新富町文化会館でゆりの里の職員を中心とするチーム 佐土原エイサーゆりの会、県内外のエイサー団体が集結しエイサーフェスティバルが開催されました。

19日は「一緒に踊りませんか？」とエイサーチームだけでなく一般の方々の参加を呼びかけ大勢で踊る前夜祭でした。

20日は楽しみに待っておられたゆりの里の利用者様もご覧になられ、各団体演舞に目を白黒させながら感動されておられました。

今や世界に名をうる創作芸団レキオスの演舞と響座の太鼓の共演等利用者様も大喜びでした。又、各チームの演舞をご覧になり、子供達の可愛い演舞に身を乗り出して見られる方、感激され涙を流される方、時には掛け声をかけられ周りの方々の笑いをいただいたりと楽しい一時でした。

「よかったね」、「連れて来てもらって感謝！感謝！」と我々職員もホッとな一時でした。



巻き寿司作り・焼肉会



5月11日、16日、グループホームにて初めての巻き寿司作りと焼肉会を行いました。いろいろな具材を自由に組み合わせて巻いて頂き、巻き方も利用者様それぞれ個性があり、焼肉会でも笑顔溢れる楽しい時間を過ごされました。味も「美味しい」と好評でした。



ゆりの里だより

第37号

平成24年6月

- ・小規模多機能の家
- ・グループホーム
- ・高齢者専用住宅
- ・宅老所さずなの園
- ・訪問介護

ゆりの里

佐土原町下田島 19658-1

TEL0985-72-0680

URL <http://care-net>

biz/45/yurinოსato/

宮崎市ゆりの里で検索可

優しい時間(とき)の流れる 絆強い極楽の園

人情・心通わす第二の家 ゆりの里

認知症シリーズ 第16回

<認知症の方への接し方>

介護する方が認知症は病気であるということをしっかり理解することが重要です。認知症の方は自分が誰かわからなくなること、記憶が失われていくことにとっても『不安』を感じています。認知症の方の行動には『意味』があります。

騒いだり、徘徊したりするのはなぜなのか、その方の価値観や歩んで来られた人生を考えて接してみましょ。脳の障害によって表現の仕方や行動にズレが生じているのです。

否定せずに受け入れることが大切です。

- ・自尊心を尊重する。
- ・話をよく聞く、同じ話でも真剣に聞く。
- ・本人の意志を尊重する。
- ・認知症の方のペースに合わせる。
- ・間違いであっても受け入れ怒らない。
- ・納得できるように話す。
- ・声掛けを多くする。
- ・不安にさせない。



5月誕生会

5月25日、小規模85才1名、グループホーム49才・94才2名の方の誕生会を行いました。1名の方は自分が主役ということもあって感動し涙を流されました。3人一緒にバースデーケーキのロウソクの火を消され、皆様にケーキを頂きました。皆様「美味しい、美味しい」と召し上がられており楽しい誕生会でした。



◎お礼&お知らせ◎

*ご家族さまはじめ地域の方々の手作りの野菜等あらゆる温かいお心遣いに心から厚くお礼申し上げます。

*ゆりの里ではノーマライゼーションを運営方針にかかげ、人が人として生きる日々の生活を大事にする中、身の安全、ゆりの里の利用者様であることの証として、利用者様は腕にブレスレットを装着されています。もしも何らかの事態の折には地域の皆様方のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

*施設のご見学・ご利用に対するの質問等、お気軽にお電話・ご来所下さい。